

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	リフレッシュパーク豊浦
所在地	下関市豊浦町大字川棚 2035番地9
指定管理者	団体名称 川棚温泉まちづくり株式会社
	代表者 代表取締役 高瀬 利也
	団体所在地 下関市豊浦町大字川棚5180番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	豊浦総合支所建設農林水産課
	T E L : 0 8 3 - 7 7 2 - 4 0 2 5
	E - m a i l : tunourin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	合計
目標値	90,000	90,000	-	-	-	180,000
実績値	69,905	-	-	-	-	-
差	△ 20,095	-	-	-	-	-

指定管理者制度導入初年度目に当たる3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為入場者制限やイベントの縮小が影響したためか、実績値が目標値の77.6%と目標値に達しませんでした。しかし、令和2年度を比較すると約2,500人の増加となっており、指定管理制度の導入目的は一定レベルで達成されていると言えます。各年度での目標を確実に達成することが指定期間中の目標の確実な達成につながるものと考えますので、4年度は、利用者にとってより魅力あるサービスメニューの開発と情報の発信や、利用者アンケート結果の実現などによる業務改善を積極的に推進し、提供するサービスの質を向上に努め、一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、都市近郊における自然活用型レクリエーション施設として活用し、活力ある個性豊かな地域づくりを図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容についても、条例規則を遵守し、来場者を飽きさせない努力がみられます。地元の風習を取り入れたイベントを行うなど、来場者と地元をつなぐイベントの工夫がみられるなど、様々な努力が確認できました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、さらなる企画運営の充実を図ることを期待しています。

収支については、指定管理者による様々な経営努力の結果、適正な範囲でした。

指定管理初年度でしたが、様々な努力や工夫が見うけられました。引き続き、さらなる努力や工夫が継続され利用者の増加が図られることを期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、指定管理者の持つ経験・ノウハウを十分生かして、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。ソフト面では、利用者の確保と施設の魅力の向上を求めます。また、自主事業については、年度当初の事業計画から変更が数回ありました。その都度変更計画書の提出を受けていますが、今後は、計画性の向上を求めます。また、定着した事業の安定した参加者の確保と地域に根ざした施設として、季節イベントの開催などの企画・実施により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。ハード面では、利用者からの大きなクレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を維持することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。施設の運用については、コロナ禍の影響により利用者数が目標値に達していないものの、令和2年度より増加してしまいました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

施設利用の許可等について苦情・問題は特になかった状況でした。例年開催して利用者が定着している恒例のイベントだけでなく、地域の昔からの風習を取り入れたイベントを行うなど話題性のある企画を実施することで利用促進に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理されていました。また、定期的に職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。また、利用者から出た意見・要望等について、迅速かつ前向きに捉え、検討し、今後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理されています。領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類の整理保管についても適正に保管されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時（事故等）が発生した場合は、迅速かつ適切な対応が取られています。

社会性(環境等への配慮)

園内の植栽を無農薬有機(オーガニック)栽培することに挑戦し、生態系の回復を図るとともに、トンボ、アサギマダラなど昆虫の育成に積極的に努めていました。剪定枝や刈草等は資源化及び堆肥化に努め、ゴミの減量化に努めていました。

事業収支

経済性

支出について、当初計画の範囲内において適正に執行されていました。収支についても、経営努力により、ほぼ収支均衡となるレベルとなりました。安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	リフレッシュパーク豊浦
所在地	下関市豊浦町大字川棚 2035番地9
指定管理者	団体名称 川棚温泉まちづくり株式会社
	代表者 代表取締役 高瀬 利也
	団体所在地 下関市豊浦町大字川棚5180番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	豊浦総合支所建設農林水産課
	T E L : 0 8 3 - 7 7 2 - 4 0 2 5
	E - m a i l : tunourin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標値	90,000	90,000	85,000	-	-
実績値	69,905	66,980	-	-	-
差	△ 20,095	△23,020	-	-	-

指定管理2年度目に当たる4年度は、昨年度と同程度の入園者数を維持しています。しかし、実績値が目標値の74.4%と目標値に達しませんでした。しかし、指定管理制度の導入目的は一定レベルで達成されていると言えます。各年度での目標を確実に達成することが指定期間中の目標の確実な達成につながるものと考えますので、5年度は、利用者にとってより魅力あるイベントの開催と情報の発信や、利用者アンケート結果の実現などによる業務改善を積極的に推進し、提供するサービスの質の向上に努め、一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、都市近郊における自然活用型レクリエーション施設として活用し、活力ある個性豊かな地域づくりを図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容についても、条例規則を遵守し、地域の風習を取り入れたイベントを行うなど、来場者と地元をつなぐイベントの工夫がみられましたが、植栽の管理育成に関しては改善の必要があります。今後も指定管理者の特色を生かしながら、さらなる企画運営の充実を図り利用者の増加に繋がることを期待しています。

収支については、指定管理者による様々な経営努力の結果、適正な範囲でした。

様々な努力や工夫が見うけられましたが、来園者の増加には至っておらず、更なる努力や工夫が継続され利用者の増加が図られることを期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、指定管理者の持つ経験・ノウハウを十分生かした良好な植栽の維持管理と業務の更なる向上と充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。ソフト面では、利用者の確保と施設の魅力の向上を求めます。また、自主事業については、川棚地域の交流人口の拡大に結びつくような一体的なイベントの企画・実施により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。ハード面では、利用者からの大きなクレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を維持することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。また、施設の運用については、厳しい社会情勢の中、延利用者数でほぼ横ばいを維持できました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情は特になかった状況でしたが、植栽の維持管理に関しては改善の必要があります。利用者が定着してきている恒例のイベントだけでなく、地域の昔からの風習を取り入れたイベントを行うなど話題性のある企画の実施と、再来園し見たいくなるような植栽の育成をすることにより利用促進に努めてください。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理し、定期的に職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。また、利用者から出た意見・要望等について、迅速かつ前向きに捉え、検討し、今後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理されています。領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類の整理保管については適正に保管されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時（事故等）には、迅速かつ適切な対応が取られています。

社会性(環境等への配慮)

園内の植栽を無農薬有機(オーガニック)栽培することに挑戦し、生態系の回復を図るとともに、トンボ、アサギマダラなど昆虫の育成に積極的に努めていました。剪定枝や刈草等は資源化及び堆肥化に努め、ゴミの減量化に努めていました。

事業収支

経済性

支出について、当初計画の範囲内において執行されるよう改善を求めます。収支については、ほぼ収支均衡となるレベルとなりました。安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	リフレッシュパーク豊浦
所在地	下関市豊浦町大字川棚 2035番地9
指定管理者	団体名称 川棚温泉まちづくり株式会社
	代表者 代表取締役 高瀬 利也
	団体所在地 下関市豊浦町大字川棚5180番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	豊浦総合支所建設農林水産課
	T E L : 0 8 3 - 7 7 2 - 4 0 2 5
	E - m a i l : tunourin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標値	90,000	90,000	85,000	85,000	-
実績値	69,905	66,980	55,708	-	-
差	△ 20,095	△23,020	△29,292	-	-

指定管理3年度目に当たる5年度は、昨年度と比べ83.1%の利用者数となっています。目標値を昨年度90,000人から85,000人へ減らしましたが、実績値が目標値の65.5%と目標値に達しませんでした。各年度での目標を確実に達成することが指定期間中の目標の確実な達成につながるものと考えますので、6年度は、利用者にとってより魅力あるイベントの開催と情報の発信や、利用者アンケート結果の実現などによる業務改善を積極的に推進し、提供するサービスの質の向上に努め、一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、都市近郊における自然活用型レクリエーション施設として活用し、活力ある個性豊かな地域づくりを図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容についても、条例規則を遵守し、地元の風習を取り入れたイベントを行うなど、来場者と地元をつなぐイベントの工夫がみられましたが、植栽の管理育成に関しては改善の必要があります。今後も指定管理者の特色を生かしながら、さらなる企画運営の充実を図り利用者の増加に繋がることを期待しています。

収支については、指定管理者による様々な経営努力をしましたが、支出超過となりました。

様々な努力や工夫が見うけられましたが、利用者の増加には至っておらず、更なる努力や工夫が継続され利用者の増加が図られることを期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、指定管理者の持つ経験・ノウハウを十分生かした良好な植栽の維持管理と業務の更なる向上と充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。ソフト面では、利用者の確保と施設の魅力の向上を求めます。また、自主事業については、川棚地域の交流人口の拡大に結びつくような一体的なイベントの企画・実施により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。ハード面では、利用者からの大きなクレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を維持することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。また、施設の運用については、延利用者数は減少しました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情は特になかった状況でしたが、植栽の維持管理に関しては改善の必要があります。利用者が定着してきている恒例のイベントだけでなく、地域の昔からの風習を取り入れたイベントを行うなど話題性のある企画の実施と、再来園し見たいくなるような植栽の育成をすることにより利用促進に努めてください。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理し、定期的に職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。また、利用者から出た意見・要望等について、迅速かつ前向きに捉え、検討し、今後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理されています。領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類の整理保管については適正に保管されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時（事故等）には、迅速かつ適切な対応が取られています。

社会性(環境等への配慮)

園内の植栽を無農薬有機(オーガニック)栽培することに挑戦し、生態系の回復を図るとともに、トンボ、アサギマダラなど昆虫の育成に積極的に努めていました。剪定枝や刈草等は資源化及び堆肥化に努め、ゴミの減量化に努めていました。

事業収支

経済性

支出について、当初計画の範囲内において執行されるよう改善を求めます。収支については、支出超過となりました。次年度は入園者数を増やし、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できるよう求めます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	リフレッシュパーク豊浦
所在地	下関市豊浦町大字川棚 2035番地9
指定管理者	団体名称 川棚温泉まちづくり株式会社
	代表者 代表取締役 高瀬 利也
	団体所在地 下関市豊浦町大字川棚5180番地
モニタリングの 実施方針・方法 等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に表示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	豊浦総合支所建設農林水産課
	T E L : 0 8 3 - 7 7 2 - 4 0 2 5
	E - m a i l : tunourin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標値	90,000	90,000	85,000	85,000	85,000
実績値	69,905	66,980	55,708	49,226	-
差	△ 20,095	△23,020	△29,292	△ 35,774	-

指定管理4年度目に当たる6年度は、昨年度と比べ88.4%の利用者数となっています。目標値85,000人に対して、実績値が49,226人となり、目標値の57.9%という結果となりました。各年度での目標を確実に達成することが指定期間中の目標の確実な達成につながるものと考えますので、7年度は、適切な植物を適切に開花させる育成管理と、利用者にとってより魅力あるイベントの開催と情報の発信や、利用者アンケート結果の実現などによる業務改善を積極的に推進し、提供するサービスの質の向上に努め、一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、都市近郊における自然活用型レクリエーション施設として活用し、活力ある個性豊かな地域づくりを図ることです。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、条例規則を遵守の上で、地元団体主催の大規模な音楽イベントの会場として、来場者と地元をつなぐ役割を担うなどの工夫がみられましたが、植栽の管理育成に関しては改善の必要があります。集客に直結する園の植物の育成と開花を確実な物とするため、植物の育成や管理方法について柔軟な対応を求めます。

収支については、指定管理者の様々な経営努力や工夫が見うけられましたが、利用者の増加には至らず、前年度の値を下回りました。

気候の変化が言われ、屋外施設である当施設には厳しい状況の折ですが、令和7年度は指定管理者の特色を生かしながらも、植物の管理についてかかる変化には柔軟に対応し、さらなる企画運営の充実を図り利用者の増加に繋がることを期待しています。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和7年度は当該管理者の最終年度となりますが引き続き、本施設の設置目的を達成するため、指定管理者の持つ経験・ノウハウを十分生かした良好な植栽の維持管理と業務の更なる向上と充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。ソフト面では、利用者の確保と施設の魅力の向上を求めます。また、自主事業については、川棚地域の交流人口の拡大に結びつくような一体的なイベントの企画・実施により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。また令和8年1月から運用可能となる新設の野外ステージも併せて活用することを求めます。ハード面では、利用者からの大きなクレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を維持することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。また、施設の運用については、延利用者数は減少しました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情は特になかった状況でしたが、植栽の維持管理に関しては改善の必要があります。利用者が定着してきている恒例のイベントだけでなく、地域の昔からの風習を取り入れたイベントを行うなど話題性のある企画の実施と、再来園し見たいくなるような植栽の育成をすることにより利用促進に努めてください。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理し、定期的に職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。また、利用者から出た意見・要望等について、迅速かつ前向きに捉え、検討し、今後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理されています。領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類の整理保管については適正に保管されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時（事故等）には、迅速かつ適切な対応が取られています。

社会性(環境等への配慮)

園内の植栽を無農薬有機(オーガニック)栽培することに挑戦し、生態系の回復を図るとともに、トンボ、アサギマダラなど昆虫の育成に積極的に努めていました。剪定枝や刈草等は資源化及び堆肥化に努め、ゴミの減量化に努めていました。

事業収支

経済性

支出について、当初計画の範囲内において執行されるよう改善を求めます。収支については、支出超過となりました。次年度は入園者数を増やし、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できるよう求めます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。